

平成29年8月

緑の学び舎

ニュースレター



清瀬市立清明小学校



清瀬市立清明小学校



武蔵村山市立第三小学校



武蔵村山市立第三小学校

特集

技術支援講習会の紹介

- 技術支援事業
- 出前芝生
- 東京都補助金制度
- 校庭芝生の親方・匠



東京都補助金制度

東京都は、芝生化、屋上緑化、壁面緑化する際に必要な費用を補助しています。

校庭芝生化事業

対象経費の1/2を補助します。ただし、芝生の維持管理を地域協働で行う場合は補助対象経費の全額を補助します。

公立小学校・中学校
義務教育学校・特別支援学校

250m²以上の
芝生化が補助対象

※一定の要件を満たせば100m²以上も対象（校庭面積が小さい、芝の生育が難しい場合など）

公立幼稚園

50m²以上の芝生化が補助対象
駐車スペース4台分程度です

面積の拡張

最初の事業補助の翌年度から
3年以内

屋上緑化・壁面緑化補助

屋上緑化・壁面緑化の実施について
必要な経費を補助します。

屋上緑化 補助対象経費の全額を補助します。
したい （上限は1m²当たり52,000円）

壁面緑化 補助対象経費の全額を補助します。
したい （上限は1m²当たり27,000円）

芝生化維持管理経費補助

専門的維持管理作業を実施する場合に、
補助対象経費の1/2を補助します。

出前芝生

芝生の良さや維持管理を体験してもらうため、芝生化未実施校に対し、天然芝を貸し出します。運動会等の行事に合わせて、芝生のよさを体感できるお試し用の芝生を育ててみませんか。



町田市立小山小学校

インタビュー
篠田 康昌 校長先生

- 児童数 912 名
（平成29年5月1日現在）
- 出前芝生を設置した時期 平成27年度

実施校の
声

本校の校庭は水はけが悪く、雨が降るとすぐに使えなくなってしまいます。そのため子供たちの外遊びが減ってしまうことをとても残念に思っていました。校長会で出前芝生の話を聞き、まずは水はけが良くなる効果に期待して一昨年設置しました。芝生が使えるようになると、子供たちがすぐに裸足になって相撲をとったりする姿を見て良かったと思っています。

雨が降った翌日でも芝生の上なら運動ができることが分かったので、現在、校庭の周囲を芝生化する計画を進めています。実は、今の小さな面積でも草抜きは結構大変です。幸い、地域の方との交流が盛んですので、維持管理にも大勢の方に協力していただけそうです。もちろん、児童全体でやれば更に効果的なので、芝生を通した様々な教育の機会が生まれることを望んでいます。

体力向上はとても大事な課題ですし、遊びながら身体を動かすことが子供たちにとって重要だと考えています。雨で校庭が使えなくなることは長年の悩みでしたが少しでも解消されて、みんなで芝生の上で遊んだり食事をしたりできるようになることを期待しています。



緑の学び舎づくり事業について、
詳しい内容を知りたい方は…

東京都教育庁地域支援部義務教育課
校庭芝生化推進担当

TEL. 03-5388-3567

技術支援講習会の紹介

ポット苗作りと補植について、二つの学校で行われた講習会の様子を紹介します。

技術支援事業

芝生のお悩み
解決します！



東京都教育委員会では、校庭芝生化に取り組む学校に技術的なサポートを行っています。「維持管理の仕方が分からない」「最近芝生に元気がない」など芝生の御相談にお答えします。

相談受付

計画段階のお悩みから芝生化後の維持管理まで、校庭芝生について相談を受け付けます。



専門家の派遣

芝生の専門家を学校に派遣し、各校の状況に応じた助言等を行います。また、芝生化 1～5年目までの学校に一年に一度訪問します。

実地講習会の実施

学校やボランティア向けに、芝生の維持管理に関する各学校の状況に合った講習会を開催できます。



はじめまして！

株式会社 緑の風景計画 です



株式会社 緑の風景計画
専務取締役 植栽技術部長
よしおか としや
吉岡 俊哉 さん

計画から施工、メンテナンスまであらゆる御相談にお応えします！



ポット苗づくり（武蔵村山市立第三小学校）

東京都では、ヒートアイランド対策、緑化対策に加え、子供たちへの教育効果や地域コミュニケーションの形成を目標に、2007（平成19）年度から本格的に公立小中学校の校庭芝生化を推進しています。事業化の当初から、芝生についての専門家として、様々な御相談にお応えしてきました。特に、それまで観賞用としてのイメージが強かった芝生の上で、子供たちが伸び伸びと遊べるようにするにはどうしたら良いかということを考えて、普及に努めてきました。

芝生に関する悩みや相談は多岐にわたりますが、大きく分けると「導入前の計画」「実際の施工」「導入後のメンテナンス」になります。それぞれの専門家が控えているので、状況に合わせた最適の人材を送り込むことができます。

メンテナンスにおける相談は、やはり生育不良や芝生の一部がはげてしまうといったものが多いですね。今回行ったポット苗の補植は、ある程度苗を育ててから補植するので根付きやすく、かなりの部分で芝生の再生が可能です。実はこうやって、傷んだ

場所を手当してやることで芝生が再生するということを経験してもらうことが大切なんですね。そうすることで、「ここまでの傷みなら許容できる」とか「これ以上は少し休ませないと」といった見極めができるようになります。もちろん、最初からそれができる訳ではないので、私達がそれを分かりやすく伝えていく必要があると思っています。そうして、だんだんと自立していただくことが最終的な目標でもあります。

芝生の維持管理は大変なこともあります。それぞれの学校の状況に合わせて、その学校にあった形で無理なく続けていってほしいと思います。



ポット苗の補植（清瀬市立清明小学校）

ポット苗の補植

清瀬市立清明小学校

児童数：411名（平成29年5月1日現在）
芝生化面積：3,832m²
芝生が完成した時期：平成27年度

傷みの激しい部分をポット苗の補植で再生



見事な全面芝生の校庭も、サッカーゴールの前や朝礼台の近くなど、一部で芝生のはがれた跡がありました。



補植する場所には、苗を植えやすいようにあらかじめ溝を掘ります。



ポット苗の補植は昨年度に続いて2回目。子供たちもそれぞれ役割分担し取り組んでいました。



サッカーゴールの前は、先生や子供、保護者の方を交えて特に念入りに補植します。



体育館を使うバレーチームやサッカーチームの方がボランティアで参加してくれました。



インタビュー：
清水 一臣 校長先生

のびのびと遊ぶ子供たちのために

2年前に芝生化して以降、側転やでんぐり返しをする子が増えてきて、子供たちが伸び伸び遊ぶことができるようになりました。大きな擦り傷があった等も聞かなくなりましたね。当初芝生化に当たり、様々な議論はありましたが思い切って全面芝生化にしたおかげで、今では雨や霜の後の使い勝手はもちろん、砂ほりもなくなるとても評判が良いです。それに、夏場の緑はともきれいですね。本校は周囲を緑に囲まれているので、更に校庭の芝生の緑が加わることで、目に優しい癒される空間が出来上がったように思います。ポット苗の補植は昨年度に続いて2回目ですが、昨年は運動会の時期にはきれいな芝生になっていたと、今年も期待しています。全面芝生なので維持管理は大変ですが、職員、保護者のボランティア、子供たちと上手く役割分担しながら、無理なく長く続けられる方法でこれからもきれいな芝生を保っていければと思います。

武蔵村山市立第三小学校

児童数：494名（平成29年5月1日現在）
芝生化面積：1,954m²
芝生が完成した時期：平成23年度

子供も大人も一緒になってポット苗作りに挑戦



冬を越して傷んだ芝生に補植するためのポット苗作り。近くで見ると所々に芝生のはがれた跡が見えました。



当日は子供たちや保護者、地域の方々あわせて90名という大勢の方が参加。皆さん、笑顔が絶えませんでした。

1 保水性を高めるために、ポットにティッシュを詰めます。



2 ポットに小分けにした芝生の苗を入れ、土を盛ります。



天気も良く、子供たちも楽しそうに作業をしていました。



3 土を入れたポットにたっぷり水を注ぎます。



4 約900個のポット苗が完成。1か月後の補植に向けて大事に育てます。



インタビュー：
前川 潤 校長先生

芝生を通して生まれる大人と子供の触れ合い

芝生を大切にすることはもちろんですが、それ以上に、芝生を通して大人と子供の触れ合う機会が生まれることがとても重要だと思っています。ここ数年芝生の傷みが目立つようになったのでどうにかしたいと思っていました。今回の講習会は、「校庭芝生リーダー養成講座」でポット苗による補植のことを知った副校長が企画してくれました。初めての開催で人が集まるかどうか心配だったのですが、たくさんの人にお集りいただき、とても感謝しています。本校では、これまでも運動会の練習やお花見、球技大会や丘の上キャンプの炊き出しなどで芝生を活用してきました。芝生の上での映画会など新しい試みもやってみたいと思っています。また、そのような行事がなくても、普段から休み時間になると子供たちが一斉に外に出て、裸足になって芝生の上で遊ぶ姿はなにものにも代え難いですね。そのためにも、地域の方々と力を合わせてこの芝生をきちんと維持していきたいと考えています。



認証式と校庭芝生リーダー養成講座を開催しました。

平成29年
2月4日

平成28年度 「校庭芝生の親方・匠」

平成28年度で5回目となる認証式では、各校の教職員や維持管理団体のリーダーを中心に、「親方」が8名、「匠」が7名認証されました。維持管理活動の頼もしい先達として、ますますの御活躍を期待しています。

認証式に引き続き、「平成28年度第2回校庭芝生リーダー養成講座」を開催しました。瑞穂町立瑞穂第四小学校と青ヶ島村立青ヶ島小学校の「親方・匠」の方々から、芝生を活用した取組や維持管理方法などについて発表がありました。参加されたの方々にとっては貴重な情報交換の場となり、今後の維持管理に携わる上でのスキルアップにつながる講座となりました。



校庭芝生の 親方・匠 とは？

東京都教育委員会は、校庭芝生の維持管理に継続的に取り組み、多大な貢献をされた方で、体制の構築や取りまとめに尽力された方を「親方」、技術的な指導に尽力された方を「匠」として認証しています。

認証者の皆さん

平成28年度校庭芝生の

親方



浅川 縁

新宿区立天神小学校 校長

佐々木 修二郎

葛飾区立中之台小学校
地域コーディネーター

鴫田 慶三

江東区立浅間堅川小学校
学校地域支援本部コーディネーター

渡辺 恒彦

町田市立本町田小学校 校長

井上 美佳

世田谷区立旭小学校
「旭の庭わくわく隊」一員

石坂 隆文

瑞穂町立瑞穂第四小学校 校長

鈴木 博子

足立区立梅島第一小学校 校長

小田 正弥

青ヶ島村立青ヶ島小学校 副校長

平成28年度校庭芝生の

匠



落合 清治

新宿区立天神小学校
「天神小グリーンキーパーズ」一員

有我 紀彦

町田市立本町田小学校
主幹教諭

須藤 利三郎

江東区立浅間堅川小学校
亀戸9丁目町会副会長

片岡 遼馬

青ヶ島村立青ヶ島中学校 教諭

武田 伸一

足立区立中島根小学校
「緑を育む会」一員

伊藤 昌之

都立大島高等学校
一般技能職員

赤松 史貴

葛飾区立中之台小学校 学校評議員

東京都教育委員会 【緑の学び舎づくり事業】

東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 〒163-8001 都庁第一本庁舎北側40階
東京都教育庁地域教育支援部義務教育課
TEL(03)5388-3567 FAX(03)5388-1734
東京都教育委員会印刷物登録 平成29年度 第61号



古紙・パルプ配合率70%再生紙を使用



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。